

令和7年度

地域と学校の連携・協働「絆」体制構築事業

新 富 町

【本年度重点的に取り組む課題】

- 学校運営上の課題
- 教職員の時間外勤務の是正

【課題の詳細】

- 部活動については、放課後や休日に教職員が指導をせざるを得ない状況にあるため、大きな負担となっている。このため令和5年度より部活動の地域連携・地域移行に向けた取り組みが始まっている。本町でも部活動検討委員会を開催し、令和7年度中に少なくとも1つの種目で休日の地域移行を開始することになっている。しかし、指導者や活動場所、用具の確保などが課題となっている。

【課題解決のために本事業で取り組むこと】

- 令和7年度中に、ソフトテニスで休日の地域移行を行う。実施しながら生徒や保護者、指導員などから意見を伺い、課題解決に向けた検証を行う。
また、他種目の関係者から意見を聞く場を設け、令和8年度以降の地域移行拡大に向けた取り組みを行う。
- 計4回の部活動検討委員会を開催し、まずはどの種目で地域移行を進めていくかを検討し、指導者や専用の練習場が備わっているソフトテニスを実施する。

【本事業で達成する目標】

- ① 令和7年度中に1つの種目で休日の地域移行を実施、令和8年度以降、他の種目でも休日の地域移行の拡大を行う。休日の地域移行の状況を検証しながら、平日にも拡大し、教職員の時間外業務の削減を目指す。

【目標の達成度を測る指標】

- ① 教職員の時間外勤務（とくに休日）の改善。
現在の状況を100として時間外の減少につながるか検証する。

現状の数値（R6末）	本年度の目標値	本年度の実績値（R7末）
① 教職員の時間外勤務状況 数値：100	① 教職員の時間外勤務状況 数値：80	① 教職員の時間外勤務状況 数値：90
【目標に対する評価・分析】 ※本年度の実績値が90とあるのは、合同練習会が台風で1回中止となったため 成 果 ○ 休日の地域展開に向けた準備が一部で進展した。 ○ ソフトテニス部について、地域団体との協議や指導者候補の探索など、地域展開に必要な基盤づくりがなされ、関係機関との連携の端緒がつくられた。 ○ 教育委員会、ソフトテニス連盟、地域との情報共有が始まり、今後の体制整備に向けた対話が進んだ。 課 題 ○ 合同練習の回数が少なく、教職員が負担軽減を感じるまでに至っていない。 ○ 安定した指導員の確保が必要である。 ○ 他の種目での事例を増やしていく必要がある。 改善等 ○ ソフトテニスの合同練習会の回数を増やす。 ○ 成功事例の提示により地域展開への理解を深め、他種目での実施をしやすいとする。 ○ スポーツ団体や地域クラブ、大学生ボランティアなどを含めた「指導者バンク」の整備をする。 ○ 教育委員会が主体となって、スポーツ協会等と連携を深めながら「絆」体制の機能を生かし教職員の負担軽減を図る。		



豊富な地域人材による教育活動支援

本部名	富田小・中地域学校協働本部	連絡先：新富町教育委員会生涯学習課 TEL：0983-33-1022 FAX：0983-33-5928
-----	---------------	---

1 活動の概要

対象学校名	新富町立富田小学校、新富町立富田中学校		
活動分野	☒ 学習支援活動（教科、総合的な学習の時間、読み聞かせ等を含む） ☒ 環境整備 ☒ 登下校の安全指導（あいさつ運動を含む） ☒ 学校行事支援 ☐ 伝統芸能 ☐ その他（ ）		
【主な取組】 ・通学路点検、見守り（通年） ・小4 総合：「アカウミガメ」学習（6、9月） ・小5、6 家庭科：学習支援（6～10月） ・中1 総合：新富町の現状と課題（6月） ・新富音頭指導（9月）			
【連携・協働している機関】 ・県野生動物研究会 ・自然愛護地域活動家 ・PTA ・役場生涯学習課文化財担当 ・婦人会 ・役場関連各課 ・こゆ地域づくり推進機構			
○地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター） 2人（地域住民） ○ボランティア登録者数 21人			

2 特色ある取組の紹介

- ① 「ミシンボランティア」 小学校5・6年家庭科
- 活動内容
- ・5年単元名「ミシンで楽しくソーイング」、6年単元「ソーイングで生活を豊かに」の学習において、ミシン操作のサポートとして、婦人会や地域ボランティアの方に支援していただいた。
- 事業を実施して（参加者の声等）
- ・各グループに1名のボランティアが付き、作業をサポートしてもらった。効率よく学習することができた。
- （教職員）



【ミシン学習支援】

- ② 「新富町の現状と課題 SDGs の取組」
中学校1年総合的な学習の時間
- 活動内容
- ・新富町のSDGsの取組について、町の方針等を聞き現状と課題について考える。
 - ・農業、福祉、防災、観光、自然環境の各分野についてグループごとに学習する。
- 事業を実施して（参加者の声等）
- ・役場各課の詳しい話が聞けて、新富町の現状がわかった。（生徒）
 - ・質問など直接やりとりができたので、効率よく学習が深まった。（教職員）



【役場職員からの説明】



地域の文化を次世代につなぐ

本部名	新田学園地域学校協働本部	連絡先：新富町教育委員会生涯学習課 TEL：0983-33-1022 FAX：0983-33-5928
-----	--------------	---

1 活動の概要

対象学校名	新富町立新田学園（小学部・中学部）		
活動分野	☒ 学習支援活動（教科、総合的な学習の時間、読み聞かせ等を含む） ☒ 環境整備 ☒ 登下校の安全指導（あいさつ運動を含む） ☒ 学校行事支援 ☒ 伝統芸能 ☐ その他（ ）		
【主な取組】 ・通学路点検（通年） ・中1総合：ふるさと探訪（6月） ・中3総合：キャリア教育（6月） ・小6総合：環境学習（6月） ・小5家庭科：ミシン学習（9、10月）			
【連携・協働している機関】 ・役場生涯学習課文化財担当 ・民間企業 ・役場環境対策課 ・婦人会 ・新田神楽保存会			
○地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター） 2人（地域住民） ○ボランティア登録者数 15人			

2 特色ある取組の紹介

① 「ふるさと探訪」 中学校1年総合的な学習の時間

○ 活動内容

- ・町内にある遺跡や自然などの見学を通して、「ふるさと新富町」について知識、興味・関心を深める。
- ・見学地 ①金丸堰 ②古墳群 ③座論梅 ④湖水ヶ池
⑤総合交流センターきらり ⑥富田浜

○ 事業を実施して（参加者の声等）

- ・現地では、宮司さんや町文化財担当の方の説明があり、学校で調べたことがさらに深まった。（生徒）



【百足塚古墳見学】

② 「かぐら学習」 小学校3年総合的な学習の時間

○ 活動内容

- ・事前に「郷土の芸能文化」について調べ学習を行った。
- ・保存会に学校へ来ていただき、神楽の演舞を鑑賞し、その後、神楽体験としてワークショップを行った。
- ・毎年2月17日に新田神社の例大祭が行われるが、現地で見学することもある。

○ 事業を実施して（参加者の声等）

- ・この体験をもとに神楽に興味をもってもらい、後継者が増えるといい。（神楽保存会）



【かぐら学習】



地域の文化財・豊かな人材を活用

本部名	上新田学園地域学校協働本部	連絡先：新富町教育委員会生涯学習課 TEL：0983-33-1022 FAX：0983-33-5928
-----	---------------	---

1 活動の概要

対象学校名	新富町立上新田学園（小学部・中学部）		
活動分野	☒ 学習支援活動（教科、総合的な学習の時間、読み聞かせ等を含む） ☒ 環境整備 ☒ 登下校の安全指導（あいさつ運動を含む） ☒ 学校行事支援 ☐ 伝統芸能 ☐ その他（ ）		
【主な取組】 ・通学路点検（通年）・参観日託児（通年）・小4総合：「座論梅」学習（4月） ・小5理科：学習支援（5月）・中1総合：「ふるさと学習」支援（6月） ・小6総合：社会科見学（6月）			
【連携・協働している機関】 ・役場生涯学習課文化財担当 ・PTA ・航空自衛隊新田原基地気象隊 ・婦人会 ・地域住民 ・西都考古博物館			
○地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター） 2人（地域住民） ○ボランティア登録者数 人			

2 特色ある取組の紹介

① 「理科5年」 小学校5年生理科

○ 活動内容

- ・单元名「雲と天気の変化」で学んだことを広げ深める段階において、「気象予報士に聞いてみよう」と銘打ち、航空自衛隊新田原基地気象隊員をゲストティーチャーとして招いた。
- ・事前に「もっと知りたいこと」などをアンケート調査し、当日は、児童の質問に隊員が答えた。

○ 事業を実施して（参加者の声等）

- ・自衛隊の基地にも気象予報士がいることを知った。（児童）
- ・児童の疑問にすぐに答えてもらった。（教職員）



【気象隊員との学習】

② 「座論梅」 小学校4年生総合的な学習の時間

○ 活動内容

- ・事前に文化財担当から「座論梅」の成り立ちや国の天然記念物に指定されていることなどを学習し、後日、梅の収穫を行った。
- ・収穫した梅は、ジュースやジャムにして味わった。

○ 事業を実施して（参加者の声等）

- ・たくさんある梅の木が、元は1本の木だったと聞いてびっくりした。（児童）
- ・町の宝物として、長く育ててほしい。（児童）



【梅の実収穫】